

全小中学校で講演
菰野町から宇宙へ



町内7つの小中学校で「夢の宇宙旅行時代到来！菰野町から宇宙へ！」と題して民間宇宙飛行士のTAICHIさんを招いて特別授業を開催しました。授業では、夢を持つことの大切さを伝えながら、アメリカの企業を中心に現在はさまざまな宇宙旅行の形式があることを伝え、子どもたちに宇宙はずっと身近で誰もが訪れることができる場所になりつつあることを伝えていました。



(株)ASTRAX 代表取締役
タイチ
TAICHI (山崎大地) さん

PROFILE

1972年、神奈川県鎌倉市生まれ。小学生の時に自作の天体望遠鏡で土星を見て「宇宙船で行ってみたい」と志し、大学で航空宇宙工学を学び、卒業後は国際宇宙ステーション (ISS) の開発・運用などに携わる。現在は(株)ASTRAX代表としてジェット機を使った無重力飛行体験の提供や全国の学校などで民間宇宙ビジネスの講演を手がける。早ければ本年中に民間宇宙飛行士として宇宙へ飛び立つ予定。

宇宙へのこれまでの固定観念や常識は捨ててください。今の子どもたちが大人になる頃にはもっと宇宙が身近になっているはず。ロケットを使えば世界各地を30分で移動でき、人類の生活圏が地表から離れ、時差や国籍などが全て必要なくなるかもしれません。宇宙で仕事をすることも夢ではありません！



鷺川原幼稚園
5歳児担任 水越由衣

COMMENT

子どもたちにとって安心できる環境づくり、コミュニケーション力や学びの芽生えを大切に環境を整え、小学校へ行っても自信をもって毎日を過ごせるように送り出したいと思っています。卒園した子どもたちが小学校でどのような生活を送っているのか知る機会がこれまで少なかったため、今後の架け橋期事業にしっかりと取り組み、子どもたちの成長を見届けていくつもりです。

鷺川原小学校
1年生担任 大塚詩織



COMMENT

自分の思いを言葉で伝えることは、社会で生きていく上でとても大切なことです。その力を幼稚園から小学校へと継続して育てていく期間が「架け橋期」であり、子どもたちにとって非常に重要な時期であると考えます。そのため、この架け橋期事業を通して幼稚園と小学校が繋がり、子どもたちの成長を同じ視点で見たいけるよう、より一層関係を築いていきたいと思っています。

鷺 川原幼稚園で行われた今年度2回目の「幼保小の架け橋期教育推進事業」の研修会では、鷺川原小学校長をはじめ、町内幼稚園、小学校、私立保育園・こども園の代表者らが集まりました。今回の研修で選ばれた題材は「なんでもバスケット」。参加者は、子どもたちが自発的に取り組む様子とともに困っている子などに保育者がどのような声掛けを行っているかを観察します。観察後は、保育者が適切な声

互いの様子を観察して生かす

掛けを行っていたか、友だちや保育者と一緒活動する子どもたちの姿にどんな学びや育ちがあったのかを振り返ります。現在はまだ、試験的な取り組みではありますが、今後は幼稚園を卒園した子どもたちの小学校での授業を保育者が観察する機会を設けるなどして、さまざまな立場からの知見をあわせて町内全域での円滑な架け橋期の教育充実を目指していきます。



▲班ごとに分かれて保育の様子を振り返る



▲町立幼稚園での保育を小学校教員らが観察

次世代へのバトン

繋ぐ架け橋 幼稚園から小学校へ

就学前教育から小学校教育へ移り変わるそんな子どもたちの大切な時期を円滑に過ごしてもらうために幼稚園と小学校を繋ぐバトン

小学校ってどんなところかな？

もうすぐ小学生！



幼 稚園・保育園・こども園（以下「幼稚園」）から進学する子どもにとって、小学校で本格的な学習を開始することや周囲の友達や環境が変化することは、精神的に非常に大きな影響があるといわれています。

円滑な架け橋となるために

す。そんな架け橋期といわれる幼少期の大切な時期を円滑に過ごすため「幼稚園の架け橋期教育推進事業」が町内で進められています。令和5年度はモデルとして鷺川原幼稚園、小学校が選ばれ、令和6年4月から小学1年生となる5歳児クラスを対象に円滑な小学校への入学へと繋がるよう保育者と教員との交流や連携が進められています。

問い合わせ

幼稚園・こども園に関すること
子ども家庭課
TEL 391-1124
FAX 394-3423

小中学校に関すること
教育課
TEL 391-1155
FAX 391-1195

5歳児→小学1年生



架け橋期って何？

架け橋期とは、義務教育開始前後の5歳児から小学1年生の2年間の期間を指します。文部科学省では、令和4年度から3年間、全国で架け橋期の教育の充実を図るため、モデル地域での「幼保小の架け橋プログラム」を実践していくこととしています。

菰野町教育委員会
教育長 北口幸弘



COMMENT

入学前に求められる力を準備できるように、小学校では「確かな学力の定着」と「今の世の中を生き抜く力の育成」を目標に掲げ、就学前教育にも力を入れています。架け橋期教育推進事業を推進することで子どもたちは戸惑いなくスムーズに小学校へ入学できるようになると感じ、これからも幼稚園・保育園・こども園を所管する子ども家庭課と小中学校を所管する教育委員会がしっかりと手を組み連携していきたいと考えています。